

第7回第2期陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略策定会議（令和7年1月17日開催）における効果検証

※ 委員から意見のあった項目のみ記載

■陸前高田市第2期まち・ひと・しごと総合戦略対象事業 実施状況

基本目標	基本施策	具体的な施策	事業名	事業内容	令和5年度実績	委員からの意見
1 陸前高田への新たな人の流れを創造し、「しみん」が集うまちをつくる	① 「陸前高田思民」の拡大と市民総活躍の環境づくり	イベント開催・誘致による交流人口の拡大	イベント開催推進事業	・本市の自然を最大限に生かしたイベントを開催するとともに、アリーナたかた（総合交流センター、B&G海洋センター）や、新たに整備する野球場・サッカー場を活用したプロスポーツ、各種スポーツ大会、スポーツ合宿や各種イベント等の誘致により、交流人口の拡大を図る。	・花火大会や各種スポーツイベントを実施した。 【観光イベント】 ・三陸花火大会 約5,000人 ・三陸花火競技大会 約13,000人 ・高田松原・広田海水浴場海開き 19,532人 【スポーツイベント】 ・プロ野球イースタン公式戦（楽天ーロッテ） 入場者数2,670人 ・フレスコボール全国大会 63ペア ・高田松原ビーチバレーボール大会 44チーム ・ツール・ド・三陸 延べ542人 ・復興ありがとうマラソン大会 341人	・以前は小中高生のボランティア受付を行っていたと思うが、ボランティアの受け入れ強化が必要であると考え る。
	② ふるさと「陸前高田」住みたいまち移住・定住支援プロジェクト	—	—	—	—	・移住定住に関しては、各自治体による人の取り合いになっている。お試し移住等一度関わった方々を思民として、関わりを増やしていければ良いと思う。
2 若者や女性が活躍できるしごとの創出につなげ、これを支える人材を育て活かす	① 陸前高田まるごとブランド化戦略	地域の特性を活かしたブランド化推進	ふるさと納税活用事業	【地域商社機能の強化】 ・ふるさと納税制度の返礼品の提供などをおし、地場産品等を市外へPRや販売を行う機能を強化していく。	・ふるさと納税制度の返礼品の開発などを行い、認知度向上につながる取り組みを実施した。	・茨城県境町が多額のふるさと納税を活用して新たな産業振興を行うとのこと。ふるさと納税の仕組みも変わるので、注視してほしい。
	② 起業家・新規事業者応援プロジェクト	—	—	—	—	・新規事業者だけでなく、既存事業者への支援も大切にしてほしい。
3 結婚・出産の希望をかなえ、子育てを協働で支える環境と、誰もが活躍できる地域社会をつくる	③ たかたっ子、子育てサポート体制づくり	出会い・結婚・妊娠・出産・子育て総合支援の充実	子育て応援事業	【子どもクーポン券の交付】 ・子育て世帯への支援として出生時、小学校就学時、中学校就学時に地域商品券により子育てクーポン券を交付する。 出生時 3万円 小学校就学時 2万円（令和4年度から3万円に増額） 中学校就学時 1万円（令和4年度から3万円に増額） 第3子以降加算 令和4年度からそれぞれの交付時に2万円加算	・幅広い年代まで子育て支援を実施するため、交付対象に高校入学予定児童を追加し、出生児に対しては別事業による給付が手厚くなることからクーポン券の交付は廃止した。 ・交付実績 小学校就学児童100人、中学校入学児童101人、高校入学予定児童118人、前年度出生児等7人、交付枚数11,180枚。	・物価高騰対策と併せて、子育て世代の皆さんへの住宅補助等、毎月何かしらの手当等があると大変助かるのではないかと思う。
その他						・震災から14年が経過しハード整備も進んでいるが、使われていない建物等を官民連携で利用しやすくすること も必要。